

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                                        |    |        |    |
|----------------|----------------------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名          | みらいりんく糸満大里                             |    |        |    |
| ○保護者評価実施期間     | 2025 (R7) 年 4月 1日 ~ 2026 (R8) 年 3月 31日 |    |        |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                                 | 3人 | (回答者数) | 2人 |
| ○従業者評価実施期間     | 2025 (R7) 年 4月 1日 ~ 2026 (R8) 年 3月 31日 |    |        |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                                 | 5人 | (回答者数) | 5人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026 (R8) 年 5月 20日                     |    |        |    |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的にやっている取組等                                                 | さらに充実を図るための取組等                       |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | チームによる支援体制と情報共有の徹底。                        | 朝礼・タ礼・月次定例会議を通じ、全職員が支援内容・児童の状況を共有。PDCAサイクルを意識した運営を実践している。             | 会議記録の蓄積・活用により、支援の質のさらなる向上を図る。        |
| 2 | 個別支援計画の丁寧な作成と保護者との連携。                      | モニタリング会議・担当者会議・連絡帳・送迎時の対話を通じ、保護者と日常的に情報共有し、個々のニーズに応じた支援計画を作成している。     | お茶会等、保護者同士が交流できる機会を設け、家族支援をさらに充実させる。 |
| 3 | 多職種連携による専門的支援。                             | 児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員・理学療法士等が連携し、こどもの発達段階に応じた個別・集団活動を組み合わせた支援を提供している。 | 外部研修への積極的参加や職員の専門性向上を継続し、支援の幅を広げる。   |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                           | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                             |
|---|--------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 | マニュアル類・安全計画の保護者・職員への周知不足。                  | マニュアルや安全計画は整備されているが、周知する機会や手段が不十分であった。      | 保護者会や定例会議の場を活用し、マニュアル・安全計画の内容を定期的に説明・配布する機会を設ける。 |
| 2 | 地域の子どもの交流機会が限定的。                           | 外出時に二次的な交流は生まれているが、意図的・継続的な地域交流の場が設けられていない。 | 保育所や地域の子どもたちとの交流活動を計画的に企画・実施し、インクルージョン推進を図る。     |
| 3 | 第三者による外部評価の未実施。                            | 外部評価の必要性は認識しているが、具体的な実施に至っていない。             | 外部評価の実施時期・方法を検討し、客観的な視点からの評価を業務改善に活かす体制を整える。     |